

「ともしびショップ湘南平」の歩み

昭和 30 年代当初、時の市長により「湘南平」高麗山公園と命名、万田出身の老夫婦が「五郎茶屋」を開店。その後、老夫婦が引退され泡垂山共同管理組合様に託され、同組合のご好意とご指導により、学園の手作り製品の販売直営店として借用できるようになり昭和 57 年 9 月「湘南平福祉の店」の出発となりました。

時崎睦男さん、川瀬良次さんには自主製品(陶器・しいたけ等)の販売と飲料の自動販売機の管理(発注・補充・売上おつりの管理等)を仕事として、お店を守っていただきました。



開店から 10 年、焼き物(陶器)やしいたけも素晴らしい商品ができるようになり、お客様にお茶を出したい、だれでもゆっくり休める部屋があったらいいな、手芸教室を開けたら楽しいなどの思いから平成 6 年、福祉の店改造計画がスタートしました。平成 8 年 3 月泡垂山共同管理組合、地元自治会、平塚市行政のご協力により新装開店を迎え、同年 4 月「ともしびショップ」として指定を受けました(県下 18 号店)。「ともしびショップ」とは、時の長洲一二知事が提唱した「ともに生きる福祉社会づくり」を目指す「ともしび運動」の輪を地

域に広げていくための一つの形として、平成元年(1989 年)に第 1 号店の県庁店がオープンして以来、県内各地の公共の建物や公園など、さまざまな場所に開設されている障がいのある方が働くお店です。

しんわ家族会のお母様を中心とした「運営協力会」皆様の応援を得て、神奈川県単独補助事業「障害者福祉的就労奨励金(ご本人の給与に対して一人月額 3 万円の助成)」を受けて、ご本人の働くお店として営業してまいりました。

1 年を通して元旦、花見、ピクニックなどのシーズン以外には、訪れるお客さんが少ないこと、喫茶部門のメニューが飲み物に限られていたこともあり、売上は低迷していました。さらに「障害者福祉的就労奨励金」が県財政悪化のために平成 23 年度をもって打ち切られることとなり、運営費がいつそう厳しくなりました。そのため平成 28 年に喫茶部門を休止し展示販売のみの運営に切り替えました。



限られた人しか訪れなくなったお店を、再び人が集まる場所に生まれ変わらせたいという思いの中、(株)研進の提案により、平成 24 年から約 2 年半、東京世田谷梅ヶ丘において研進が直営したホットケーキパーラー「リトルツリー」の実績とノウハウを活かした老舗のレシピを継承するこだわりの万惣系ホットケーキを目玉商品とするお店づくりのコンセプトに合意。リニューアル工事については、研進が仲介した(株)建築と木のものづくり研究室の湧口善之氏(建築士)に相談。「いのちの森づ

くり」に共通する多くの木を組み合わせて「多様性と調和」を具現化するコンセプトに賛同し、平成 29 年 6 月にリニューアル工事を決意し施工を依頼しました。タイミングよく平塚市が景勝地としての湘南平の魅力度アップを図るため、頂上の千畳敷を囲む高木の伐採作業を進めており、その伐採した木材の一部をショップの改修工事の建築資材として活用しました。改修後、内装から家具まで無垢の木材が基調となるコンセプト通りの店舗に生まれ変わりました。

1 階は喫茶部門ホットケーキパーラー「湘南リトルツリー」、2 階は学園の「自主生産品を展示・販売、サンメッセの日中作業やボランティア活動の場、イベント会場など多目的スペースとして活用することとしました。

平成 30 年 3 月リニューアルオープンに至り、1 階のホットケーキパーラー「湘南リトルツリー」の運営は、(株)研進へ業務委託しました。ホットケーキと店舗運営については、連携する「フルフル」(東京赤坂・世田谷)の指導を仰ぎ、当時のパンケーキ・ブームにも乗り、順調に売上を伸ばすことができました(平成 30 年度 827 万円売上、令和元年度 900 万円売上)。しかし、研進社員は 7 名と少数で、支援スタッフの育児問題も顕在化し要員配置に窮して店舗運営が行き詰まる事態となりました。令和元年 9 月中旬、研進から店舗運営を進和学園に戻したいとの相談を受け検討の結果、同年 12 月末で業務委託を解除し、令和 2 年 1 月より、「湘南リトルツリー」の運営、並びに 2 名の店員の雇用についても職員として引き継ぎました。以降、サンメッセが中心となり、ルネッサンス、アート部会、手仕事屋さん、Flat さん、逸品研究会などの協力、応援を得て、より進和学園らしさを意識して「本人中心」のコンセプトに根ざした持続可能な運営を目指してきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響が令和 2 年 2 月頃より出始め、飲食店にとっては大変厳しい状況となりました。そして、雇用を引き継いだ 2 名の担当職員が令和 3 年 7 月末をもって年度途中で退職することになり、8 月より新たに職員を配置し新体制で運営することになりました。

令和 3 年度の夏季は、コロナ・デルタ株の感染拡大があり、緊急事態宣言が発令され、8 月 6 日から 9 月末日まで臨時休業の対応を行いました。10 月より営業を再開し新体制への移行に際し、現状の課題を整理し、これまで構築して来た成果を活かしつつ、「ともしびショップ」の今後を展望し、事業計画を新たに検討する必要性が生じました。

令和 3 年 10 月 21 日、ともしびショップ湘南平に関わるサンメッセ職員、理事長にて現状の把握、今後について検討を実施。売上げはもちろん重要ですが、職員も含め利用者ご本人が生き生きと率先して提案のできる、働きがいのある明るい雰囲気のお店を目指すことが重要であり、進和学園の特色を活かした事業運営を推進することで意見がまとまりました。

令和 3 年 11 月 25 日
社会福祉法人 進和学園